

## 暑い夏…熱中症対策をしっかりと。

8月に入りました。夏休みも中盤へと向かいます。本市の幼児児童生徒は、この暑さをものともせず、様々な体験を通して、たくましく成長していることと思います。

夏休みに入り、スポーツ面や文化面での幼児児童生徒の活躍が目立ちます。県大会を勝ち進み、九州大会、全国大会への切符を手にした選手たち、また、詩や作文などの各種コンクールで入賞するなど、幼児児童生徒の活躍を喜んでおります。

さて、ますます暑さが厳しくなってきました。7月中旬から下旬にかけて、県内では、熱中症と診断された患者が、過去10年で最高の値だったそうです。3年ぶりとなる35度以上の「猛暑日」も記録しています。屋外での活動のみならず、体育館などの室内でも熱中症の症状で病院に搬送されることもあるそうです。沖縄県は、「こ・え・か・け」を合い言葉に熱中症予防を呼びかけています。

これから、中学校では、陸上大会に向けての練習も始まると思います。是非、対策をしっかりとって頂きたいと思います。

担任の先生方は、この夏休み中に少なくとも1回は、学級の子ども達と連絡をとってほしいと思います。長期休業明けは欠席が増える傾向にあります。特に、一学期、気になった子どもは、必ず、声かけをお願いします。

熱中症も不登校もあなたの「声かけ」で防ぎましょう。



### 8月予定の研修会等



| 日(曜)  | 研修会等                  |
|-------|-----------------------|
| 7(月)  | 第1回学校教育支援員研修会         |
| 9(水)  | 第2回初任者研修              |
| 18(金) | 保幼小連携講演会              |
| 23(水) | 教職10年経験者研修<br>(情報教育)  |
| 24(木) | 教職10年経験者研修<br>(企業等体験) |
| 25(金) | 教職10年経験者研修<br>(企業等体験) |
| 28(月) | 第2回生徒指導主任研修会          |
| 29(火) | 養護教諭研修会               |

### 特別の教科「道徳」

「特別の教科 道徳」については、すでに御承知のように、小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度からスタートします。また、教科書が導入されます。各学校においては、教科化に向けての準備を進めて欲しいと思います。

参考までに、改訂のポイントを確認したいと思います。

- H30年度、小学校は、「道徳の時間」を「特別の教科」としての道徳科とする。
- 道徳科の目標は、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと。
- 道徳教育の内容を小学校から中学校までの発達の段階を踏まえた体系性を高めたものとし、構成やねらいを分かりやすく示すこと。
- 児童生徒の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、多様な指導方法を工夫すること。
- 「児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。」とし、児童生徒の良さを伸ばす評価を充実すること。

特に、授業においては、発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子どもが自分自身の問題と捉え、「考える道徳」「議論する道徳」へと転換を図るものとなっています。

教科化へのスムーズな移行を目指し、各校で万全の準備をお願いします。

# 石垣市制施行70周年事業 「中学生がこれからの観光について考えるシンポジウム」

石垣市制施行70周年記念事業「中学生がこれからの観光を考えるシンポジウム」を、7月13日に市民会館大ホールにて行いました。市内中学生490人や教職員らが参加して、石垣市の観光について考える機会となりました。

玉川大学の寺本潔教授が公開授業、東洋大学大学院の丁野朗客員教授が基調講演を行い、中学生4名も参加したシンポジウムも開催されました。当日の司会は、サンサンラジオの照屋寛文さんをお願いしました。

## 公開授業



市内9中学校の代表生徒18名による公開授業を舞台上で行いました。授業者は、玉川大学の寺本潔教授が行いました。

生徒達は、事前に考えてきた観光プラン発表していました。テーマは、石垣島への来島2回目の観光客へ提案するプランです。それぞれの地域の自然や食文化、伝統芸能などを取り入れ魅力あるプランを考えていました。

北部地域の飲食店やレジャーショップ、自然を満喫するプランや冬限定のプランなど、様々な魅力ある観光プランが提案されました。

また、熟年夫婦や家族、女子大生、ビジネスマンなどの旅行者は、「保養型」「目的型」「低価格」「高価格」のどの分野に位置するかを考え、どのような観光プランが考えられるかを発表していました。

それぞれ、視点が違うとプランも違ってくる。観光客が何を望んで石垣島にくるのか、私たちは、何をどのような形で提供できるのか、物事を様々な方向からみて考えることの大切さを学びました。

## 基調講演



基調講演は、丁野朗客員教授による「観光って何だろうね ～地域のお宝のを見つけ方～」をテーマにした講演でした。他の地域の紹介しながら、「観光とは、地域の『光』を『心を込めて観る』こと、地域の最も輝くもの(光)を観てもらおうこと。」だとお話していました。

みなさん石垣の「光」は何だと思えますか。どんな光を観光客に観てもらいたいですか。

それを考えることが、石垣の観光を考える入口になります。

## シンポジウム

シンポジウムでは、4名の生徒代表を含めた丁野教授、美ら花グループの親盛一功社長、市観光交流協会の高倉大事務局長、那覇市立小禄小学校の吉浜幸雅校長がパネリストで登壇し、寺本教授をコーディネータとして進められました。

島の魅力や課題、これからの石垣市の観光の展望などをそれぞれの視点から意見と交わしました。「石垣の魅力がアップするには、何を磨けばいいのか?」「中学生に期待することは?」「観光客増で発生する課題は?」等々について意見を発表していました。中学生4名も、大人顔負けの意見を発表し、司会の寺本教授を驚かせていました。

参加した生徒：石垣中の田淵鈴夏さん、石垣第二中の島尻和慶さん  
大浜中の宮良実成さん、白保中の天久珠里さん



## 観光クイズ

休憩前には、全員参加の石垣市に関する観光のクイズがありました。

クイズ全問正解者で、景品を受け取っていない生徒は、もうしばらくお待ち下さい。現在、追加注文中です。納品され次第、各学校を通してお届けします。



市制70周年事業として開催した本シンポジウムでしたが、皆さんの御協力のおかげで、成功裏におえることができました。ありがとうございます。

特に、石垣中学校の生徒会の皆さんには、駐輪場の整理、受付、景品配布と動いてくれました。中学生による中学生のためのシンポジウムとして、開催できたことに感謝いたします。